

## 企画展 地図でたどる台東区の変遷

土地の情報を伝える手段として、地図は古くから用いられてきました。現実の情報を抽象化・記号化して図に表した地図は、地理空間情報を効率的に伝えることができます。

台東区立中央図書館でも、江戸切絵図や明治の下谷区・浅草区の地図、地域の案内図など、様々な地図を所蔵しています。本企画展では、台東区立中央図書館で所蔵している貴重資料の地図を用いて、台東区の変遷をたどっていきます。

### 行政区画の変遷

- 明治元年(1868)  
江戸に江戸府を設置。同年のうちに「東京府」と改称。
- 明治4年(1871)  
大区小区制が始まり、東京府に6大区97小区を設置。
- 明治11年(1878)  
郡区町村編制法が制定され、東京府に15区6郡を設置。  
「下谷区」「浅草区」の誕生。
- 明治22年(1889)  
市制町村制の施行により、15区が東京府から独立。  
「東京市」が発足。
- 昭和7年(1932)  
東京市が隣接する5郡82町村を合併して20区を新設。  
東京市が35区制になる。
- 昭和18年(1943)  
東京都制の施行により、東京府および東京市を廃止。  
「東京都」を設置。
- 昭和22年(1947)  
東京都35区が22区に再編。  
同年のうちに板橋区から練馬区が独立し現在の23区制に。  
下谷区と浅草区が合併し「台東区」が誕生。

### 展示資料



東都浅草絵図



浅草鳥越堀田原辺絵図

他、約25点展示予定

※一部資料は1か月ごとに展示替えを行います。

### 図書館職員による ギャラリー・トーク

- 内容 展示品を見ながら解説  
日時 4月21日(日)、5月12日(日) 午後4時15分~45分  
会場 台東区立中央図書館2階 郷土・資料調査室  
定員 各8名(先着)  
申込 2階郷土カウンターで直接、または電話

※参加ご希望の方は、ホームページの注意事項をご確認のうえお申し込みください。

次回展示 6月21日(金)~9月16日(月・祝)

「吉原細見の世界Ⅲ 前編」